



渋谷区『新しい学校づくり』整備方針 ～学校施設の未来像と建て替えロードマップ～ (概要版)

当資料は教育目標や長寿命化計画を踏まえ、「未来の学校のコンセプト」と「新しい学校施設整備に当たっての考え方」の概要をまとめたものです。



1 未来の学校のコンセプト

整備方針の根底となる考え方には、「新たな学びの場」「環境への配慮」「地域コミュニティの拠点」の3つの柱があります。子供たちのより豊かで発展的な学びを保障していくためには充実した教育環境を確保する必要があります。同時に、学校施設は地域住民等の多くの人々が集う施設です。渋谷区基本構想の理念であるダイバーシティ&インクルージョンのもと、子供たちと学校に集う人々が“ちがいをちからに変える”ことができる学校づくりを進めていきます。

・快適性・居心地に配慮した空間

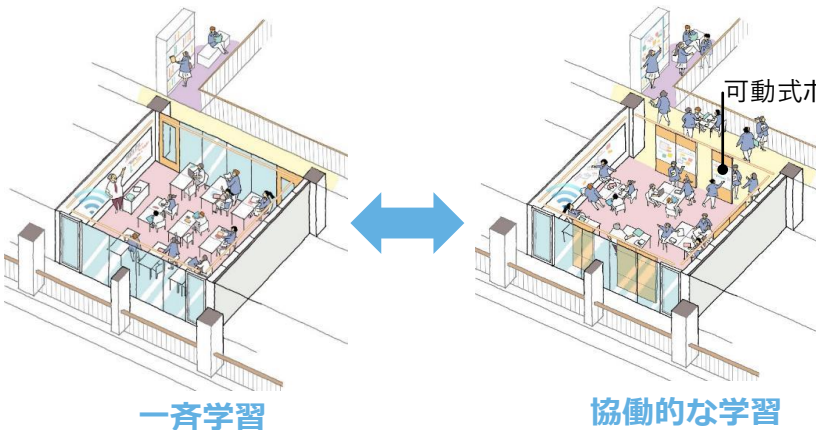


温かみのある内装：木造と勾配屋根で光を入れた教室事例
瑞浪市立 瑞浪北中学校



落ち着けるリビング空間

・多様な学びを実現する可変性のある学習空間

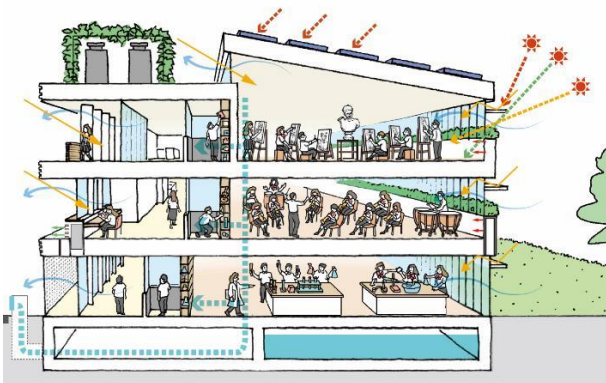


可動式ホワイトボード

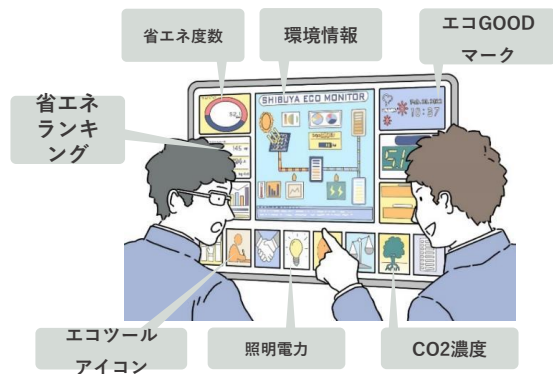


海外とオンラインでつながる授業

・地域環境に配慮した学校づくり

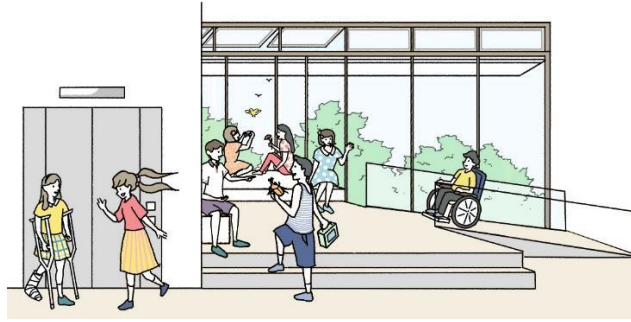


再生可能エネルギーを採用し、カーボンニュートラルに取り組む学校施設



学校の環境情報を知り、子供たちの主体的な省エネ活動を促すエコモニター

• みんながストレスなく活動でき、使いやすく誰にでもやさしい校舎づくり



• 未来の担い手を育てる学校施設づくり

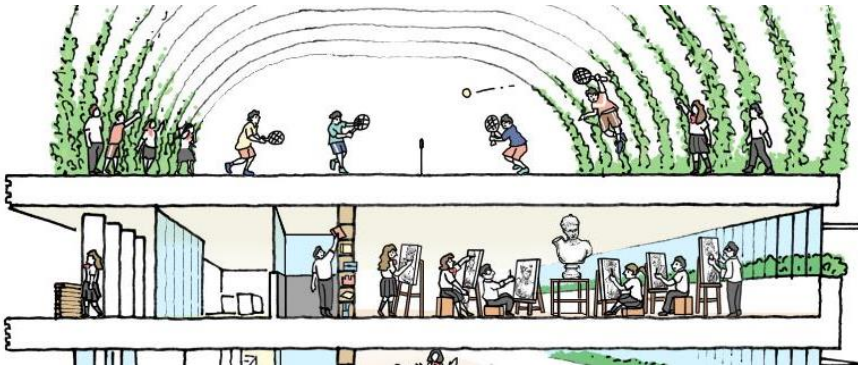


自主的・主体的深い学びの中心となるラーニング・コモンズ



陶芸や工作に便利な屋外テラス

• 児童・生徒が伸び伸び活動し、『地域のスポーツセンター』にもなる運動スペース



屋上運動場



地域に開放する屋内プール
港区立芝浦小学校・幼稚園

• 学校と地域の「共創空間」と「地域コミュニティ」の創出



校舎内アーケード下のまちの広場で防災訓練中のイメージスケッチ

2 新しい学校施設整備に当たっての考え方

1. 今後の学校施設の建て替えに向けたロードマップの基本的考え方

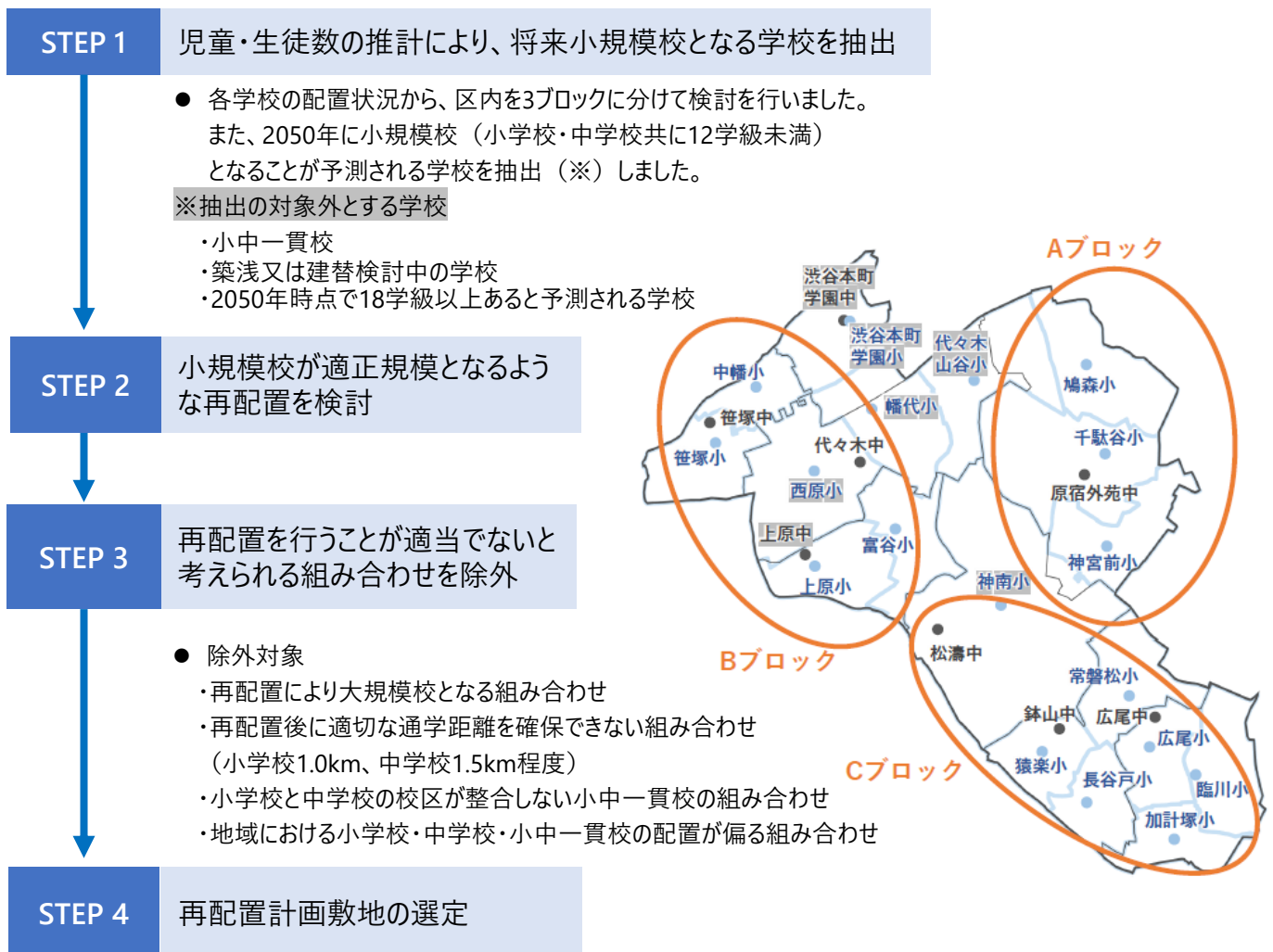
区では、今後20年間を目標に、区内の小・中学校・幼稚園の建て替えを順次実施していきます。

学校施設の計27施設（小学校18校、中学校8校（※小中一貫校1校含む）、独立幼稚園2園）の内、今後20年間の建て替え対象校は22施設にのびります。

これからの学校施設の建て替えを計画的に実施していくためにも、建て替えロードマップを策定し、地域の区民や児童・生徒、教職員などの関係者と連携を図りながら、各学校施設の建て替えを実施していきます。

2. 学校の「規模」と「配置」についての検討

子供の教育環境の改善を中心に据え、学校規模の適正化を優先的に検討するとともに、地域バランスや義務教育期間9年間の連続性、地域コミュニティとの関係を考慮し、学校の「規模」「配置」の検討を行いました。



《再配置の選定結果》

【Aブロック】原宿外苑中学校敷地に千駄谷小学校との小中一貫校を計画する。（R13年度開校予定）

【Bブロック】笹塚中学校敷地に笹塚小学校との小中一貫校を計画する。（R20年度開校予定）

【Cブロック】鉢山中学校敷地に猿楽小学校との小中一貫校を計画する。（R13年度開校予定）

3.仮設校舎についての検討

仮設校舎については、解体工事等の大きな振動や騒音を伴う工事による影響を考慮し、可能な限り学校敷地とは異なる場所に整備し、敷地内でのローリング整備になる学校が最小限となるよう、検討を進めます。

新たに整備する仮設校舎は、耐震性能の確保はもとより、児童・生徒の学習・生活環境として十分な安全性や快適性を有する施設とし、冷暖房設備や洋式トイレ完備、バリアフリー等に十分配慮した計画とします。また、整備方針に掲げる整備水準のうち、採用できるものについては、可能な限り取り入れることを検討します。特に、青山仮設校舎やスポーツセンター仮設校舎は、複数校の建て替えに利用し、複数年の利用が見込まれることから、より快適性の高い校舎となるよう工夫します。

地域によっては、仮設校舎の利用により、通学路が変わったり、通学距離が遠くなる場合がありますが、児童・生徒の安心・安全に最大限配慮した計画としていきます。

◆ 青山仮設校舎（R7年度利用開始）

青山病院跡地（都有地を借用予定）に仮設校舎を建設し、周辺校を受け入れます。

なお、同時期に小学校と中学校が同一敷地内で学校生活を送ることになりますが、それぞれの学習活動に支障が生じないよう配慮しつつ、小学校と中学校の交流や連携を図り、その環境を有効に活用していきます。

【利用校：神南小・広尾中・松濤中・鉢山中・原宿外苑中】

◆ スポーツセンター仮設校舎（R8年度利用開始）

青山仮設校舎から距離が離れる学校については、区有施設の中で最も大きな敷地面積を持つスポーツセンター（テニスコート部分等）敷地に仮設校舎を建設し、周辺校を受け入れます。

【利用校：代々木中・幡代小・西原小・笹塚中・富谷小】

◆ 既存校舎を仮校舎として活用

小中一貫校化に伴い、利用しなくなった校舎を仮校舎として活用します。

【猿楽小仮校舎利用校：長谷戸小・広尾小・常磐松小】

【千駄谷小仮校舎利用校：鳩森小・神宮前小】

◆ 学校敷地内での仮設校舎整備

自校の運動場内に仮設校舎を建設し、活用します。

【対象校：臨川小・中幡小・上原小・加計塚小】

渋谷区立小学校・中学校建て替えロードマップ

令和5年（2023年）3月改定

	第1期（今後10年間）										第2期（次の10年間） ※									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
神南小学校	●			●							※神南小学校は再開発事業の見直しに伴い、									
広尾中学校	●		●								工事期間を令和8年度から令和10年度の3年間に変更します。									
松濤中学校	●		●																	
鉢山中学校																				
猿楽小学校										★1										
長谷戸小学校																				
広尾小学校																				
常磐松小学校																				
原宿外苑中学校																				
千駄谷小学校										★2										
鳩森小学校																				
神宮前小学校																				
代々木中学校	●			●																
幡代小学校																				
西原小学校																				
笹塚中学校																				
笹塚小学校																			★3	
富谷小学校																				
臨川小学校																				
中幡小学校																				
上原小学校																				
加計塚小学校																				
渋谷本町学園小学校											◎									
代々木山谷小学校															◎					
上原中学校					◎															
渋谷本町学園中学校											◎									

※第2期については、今後の学校施設の劣化状況、児童・生徒数の推移、社会状況等の変化により適宜見直しを行います。

【凡例】

- ：青山病院跡地に仮設校舎を建設し活用します。詳細については検討中です。
- ：猿楽小学校は、鉢山中学校新校舎で小中一貫校となる予定です。（★1）
一貫校に移転後の猿楽小学校を仮設校舎として活用します。
- ：千駄谷小学校は、原宿外苑中学校新校舎で小中一貫校となる予定です。（★2）
一貫校に移転後の千駄谷小学校を仮設校舎として活用します。
- ：スポーツセンター敷地内の一部（テニスコート等）に仮設校舎を建設し活用します。
笹塚小学校は、笹塚中学校新校舎で小中一貫校となる予定です（★3）
- ：自校運動場に仮設校舎を建設し活用します。
- ◎：建設後、20年目に改修工事を行います。
- ：工事期間を表します。（解体1年間及び建築2年間の合計3年間を見込みます）
- ：基本計画・設計期間を表します。
（令和10年度以降に着工する見込みの学校については今後検討してまいります）

【発行・ご連絡先】 渋谷区教育委員会事務局
学校施設整備調整担当 ☎03-3463-2795